

2004年5月15日(土)

うえ やま
上の山遺跡現地公開資料

財団法人 大阪府文化財センター





発掘された段丘と谷（南西から）/5・7調査区



約10m幅で細長く区画された平安時代の水田（南から）/7調査区



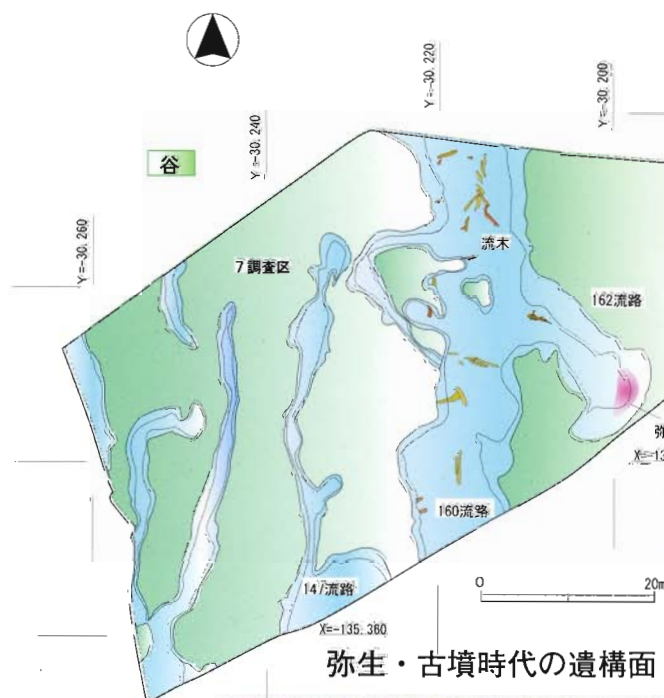
谷底をはしる弥生・古墳時代の流路（南から）/7調査区

う え や ま 上の山遺跡の発掘調査（交野市私部西五丁目）

上の山遺跡は、平成12年度に財団法人大阪府文化財保護センターに委託を受けて、第二京阪道路（大阪北道路）の建設に伴う調査の結果を受けて、大阪府教育委員会の指導を受けて、天野川の西側にあたり、枚方丘陵からなる段丘上に、枚方市と交野市の市界にまたがります。なお、この段丘上には枚方市と交野市の市界にまたがります。

これまでの調査で、旧石器時代から中世までの遺跡が確認され、縄文時代前期から中期にかけての竪穴住居が5棟発見されています。また、段丘の西側の谷は、弥生時代中期前半から平安時代にかけての平安時代に耕作地として開発され、今に至るまで耕作地として利用されています。

これから調査により、この地で繰り広げられた歴史を明らかにしていきます。今後とも、ご理解、ご協力をよろしくお願い申し上げます。



弥生・古墳時代の遺構面



谷ぎわにできた弥生時代中期前半の遺構

枚方市茄子作南町 所在)

化財センターが、国土交通省・日本道路公団の委に伴う確認調査で発見した遺跡です。今回は、確のもと、平成15年度から発掘調査を開始しました。南北に細長く伸びる段丘とその両側の谷に立地し境にもなっている東高野街道が通っています。遺構や遺物がみつかっています。段丘上からは古見され、集落の広がりをはかることができる。から飛鳥時代頃にかけて埋没し、ある程度谷が埋まれていることがわかりました。人々の活動が一層明らかになることが期待されたいいたします。



半の土器溜まり (西から)/7調査区



段丘の斜面に建てられた古墳時代の竖穴住居群全景 (南から)/5調査区



ベッド状遺構をもつ古墳時代前期の竖穴住居2 (東から)/5調査区



作り付けのカマドを備える古墳時代中期の竖穴住居1 (東から)/5調査区

発掘された段丘と谷

(北から)/2調査区

右側の道路は東高野街道

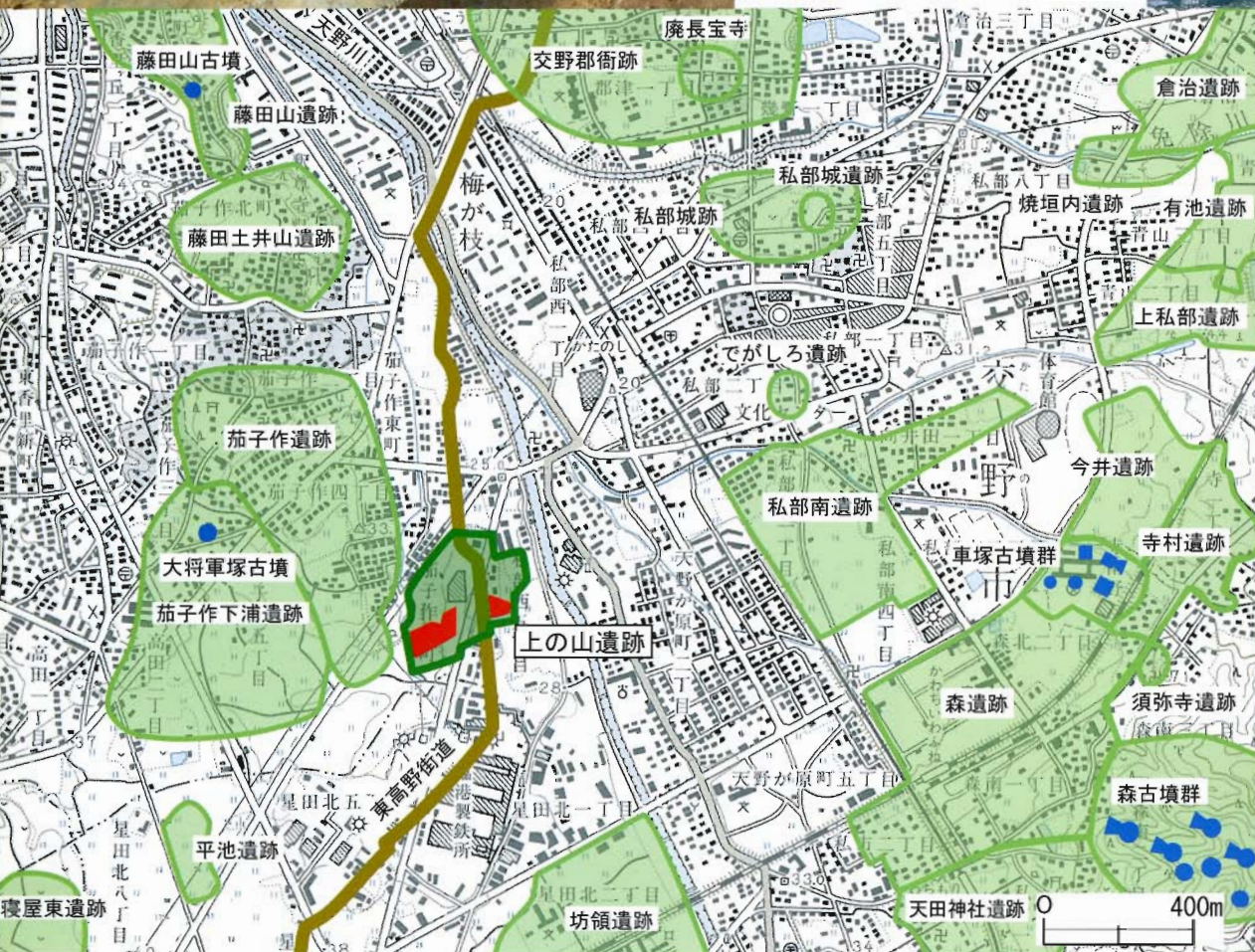
段丘上に古墳時代中期の竪穴住居と
弥生時代の溝



須恵器の大甕を据えた水場

(南西から)/2調査区

水の湧き出す谷のきわにある



上の山遺跡とその周辺 (国土地理院発行二万五千分の一地形図「枚方」より)

表紙の写真は西から
上の山遺跡を望む

上の山遺跡現地公開資料

発行 (財)大阪府文化財センター

〒590-0105 堺市竹城台3丁21番4号

印刷 株式会社中島弘文堂印刷所

TEL 072-299-8791

発行日 2004年5月15日